

補聴器について

下仁田厚生病院 耳鼻咽喉科 村田 考啓

補聴器と聞くと、「補聴器は高い」「つけると音が響いてうるさいし疲れる」「ことばが昔みたいに聞き取れるようにはならない」といった印象をお持ちではないでしょうか。

これらは、きちんと補聴器を適応・調整・装着していないために生じている問題です。補聴器は難聴という「病気」に対して使用する医療機器です。しかし、「専門的でないお店で、十分な説明や検査・評価がなく、高価なものを買って、十分なアフターケアもなく終了」となっていることが多い現状が、上記の印象を生じています。

補聴器が生活上本当に必要な状態か評価し、適切な種類の機器を適切な価格で（公的補助も検討しながら）入手し、その人の耳にあった調整を行い、ただ補聴器をつけるだけでなく補聴器で聞き取れるようにするトレーニングを行っていくことが重要です。

補聴器とは

補聴器は「多彩な調整ができる小型の音の増幅器」です。

マイクから入った音が増幅部で調整通りに増幅されて出力部から鼓膜へ音を発します。

種類としては、耳掛け型（右図）・耳穴型（耳に本体ごと入れる小さいもの）・ポケット型（箱型）の3種類が基本です。聴力や使用方法など総合的に判断して選択します。耳穴型は目立ちにくいですが、出力が弱くこもり感が強い欠点があります。



補聴器の適応

補聴器は、補聴器以外の治療で改善困難な難聴に対して使用されることが多いです。逆に治療可能な難聴を耳鼻咽喉科で診断・治療せず、補聴器を使用することは非常に問題です。難聴には様々な程度があり、高い音が特にわかりにくい場合や、逆に話し声の高さだけ聴こえにくい場合もあります。そのため、個々の聴力を正確に評価し、それに合わせて調整を行う必要があります。日常生活場面で不自由を感じ、それを改善させたい希望があれば、聴力の程度によらず補聴器の適応を考えます。

補聴器の購入

補聴器は、種類によって1台数万円～30万円と大きく幅があります。新聞広告に掲載されている数千円のものには「集音器」という器械になり、多彩な調節ができないため効果は不十分なことが多いです。高価なほど様々な「オプション」がついていますが、高価だから必ず良く聴こえるわけではありません。耳穴式は総じて高くなりますが、出力の限界があります。よって、個々の聴力や聴こえの特徴によって選択することが望ましいです。難聴の程度が重い場合は、聴覚障がい身体障害者手帳を利用して、補装具として公的補助を受けることができます。所得によって異なりますが、価格の1割負担のみで基準範囲の補聴器を購入することが可能です。

補聴器の調整

メガネと違い、補聴器はつけてすぐ聴こえるようになるわけではありません。

難聴の方の多くは、音を感じ取る内耳自体がいたんでいます。そのため少し大きめの音が入ると、「いたんだ内耳の傷に音がしみる」ような現象がおこり、うるさく響いて不快に感じやすくなっています。このため、最初は大きな音を入れず、小さい音から徐々に大きく調整しながら耳と脳に慣れさせていく必要があります。この手順を抜かしてしまうため「うるさくて使えない・疲れる」となります。購入後も繰り返し補聴器の調整を行い、耳に慣れさせるトレーニングを続けることが非常に重要です。また長時間使用することで、メガネも補聴器も慣れやすくなります。いたんだ耳で音を綺麗に聞き取ることには、確かにある程度の限界があります。ですがその限界も理解した上で、「今より聴こえが良くなる」目標に向かって、適切な手順であきらめずに装着・調整を行うことが、補聴器の効果を得るために非常に大切です。

食育講座「お母さんと一緒に学ぶたべもの教室」開催

町のボランティア団体「食生活改善推進員(愛称 ヘルスマイト)」の皆さんが親子に簡単なランチ(今回はお節句料理)を提供します。この機会にぜひ子供と楽しく食べることの大切さを学びませんか。

- ★日時 2月24日(水)11時~13時
- ★会場 保健センター 1階 母子保健室
- ★対象 乳幼児とその保護者(先着15組)
- ★内容 ①バランスを考えた幼児食の試食
②子供と一緒にプチ調理体験
③ヘルスマイトからの食育伝達
④参加親子の交流
- ★費用 材料費として 保護者 400円/子ども 200円
※離乳食の用意は各自でお願いします
- ★持ち物 あれば親子共に、エプロン、バンダナ、手ふきタオル等ご用意ください
- ★申込み先 保健環境課(保健センター)栄養士まで ☎82-5490



2月の「保育園子育て応援(保育園体験)」活動計画



「保育園子育て応援(保育園体験)」は、在宅の3歳までの乳幼児と保護者及び妊婦さんが参加できます。参加ご希望の方は、希望される保育園へお問い合わせください。

保育園	馬山保育園	青倉保育園	※保育園の見学や子育て相談はいつでも実施しています。ご希望の方は保育園へお問い合わせください。 ■問合せ先 馬山保育園 82-2323 青倉保育園 82-2549 下仁田町役場 健康課福祉係 64-8803(直通)
会場	保育園ホール	保育園内	
実施日	2/18(木)	2/16(火)	
時間	10:00~11:00	10:00~11:30	
対象児	妊婦さんと3才児まで	妊婦さん~未入園児	
内容	リトミック	親子ふれあい遊び	
	乳幼児の育て方及び在園児との交流	保育園児とあそぼう 園庭開放	
準備するもの	運動の出来る服装でお出かけください。	動きやすい服装でご参加下さい。	
講師	リトミック講師 田中文華、蟻坂弘江 担当保育士 寒河江恵子	参加ご希望の方は事前にご連絡ください。	

教育委員会からお知らせ

町教育委員会では学校支援員を募集します。

業務内容 小学校または中学校における学習支援

募集人員 若干名

賃金 日額 6,200円

保険関係 社会保険・雇用保険・労災保険加入

採用期日 平成28年4月1日より1年間(夏季・冬季等休業期間除く)

申込手続 学校支援員・英語支援員とも市販の履歴書に必要事項を記入(写真を添付)のうえ教育委員会学校教育係に提出

申込期間 2月5日(金)から2月19日(金)まで

面接日 別途連絡します

問合せ先 教育委員会 学校教育係 ☎82-2115

町教育委員会では授業における児童の英会話力向上を図るため、英語支援員バンクに登録して下さる方を募集します。

業務内容 小学校における英語教育の学習支援
ALTの英語学習における支援

募集人員 若干名
※複数の応募があった場合は交替勤務となります

賃金 時給 2,500円

応募資格 特に問いませんが、英語に興味があり、英会話能力のある方

採用期日 平成28年4月1日より1年間のうち週1日=原則木曜日(夏季・冬季等休業期間除く)

不妊治療費を助成します

治療開始届出は2月15日までに!

町では、不妊治療等を受けている方に、その治療費の一部を助成しますので、該当する方は申請をしてください。

●対象者

- ・法律上の婚姻をしている夫婦で、妻の年齢が43歳未満であること
- ・治療日時点で町内に住所を有し、引き続き定住の意志があること
- ・医療保険各法の被保険者または被扶養者であること
- ・町税等に滞納がないこと
- ・特定不妊治療については、知事が指定した医療機関で治療を受けていること

●助成内容

区分	内容	1年度当たりの助成金	期間
特定不妊治療	体外受精もしくは 顕微授精による治療	治療費等の2分の1か、100万円のいずれか少ない金額 ※群馬県が実施している助成制度を先に申請してください。	通算7か年度
一般不妊治療	上記以外の一般的な治療	治療費等の2分の1か、20万円のいずれか少ない金額	
不育治療	不育症の治療	治療費等の2分の1か、20万円のいずれか少ない金額	

(注1)医療機関で支払いをした治療費から、保険等から補てんされる金額を差し引いた金額が、助成金算定の基準額となります。

(注2)平成26年度までに1または2か年度助成を受けている方も、対象要件に該当すれば、7か年度から引いた残りの年度を申請することができます。

●手続き方法

①「治療開始届出書」を提出する(予算確保のため)。

届出期限 平成28年2月15日(金)

②申請する

申請期限 平成28年3月31日(木)

必要書類 a.「申請書」

b.「医療機関証明書(治療区分により様式が異なる)」医療機関発行の領収書を添付

c.「同意書」

様式は、下記窓口へ請求いただくか、町ホームページからダウンロードできます。

●問合せ・申請先 保健環境課 保健予防係(保健センター) ☎82-5490

シニア教室開催のお知らせ

毎月、多方面の方を招いて健康や日常生活に役立つ内容で開催しています。皆様の参加をお待ちしています。お申し込みは不要ですので、直接会場へお越し下さい。

【参加費】 無料

【日程・内容】 2月18日(木)午前10時~12時 「消費者被害防止講座」

【講師】 群馬県消費生活センター

【持ち物】 筆記用具、めがね、飲み物

【会場】 旧小坂小学校(1階西教室)

【対象】 65歳以上であればどなたでも参加できます。

■問合せ先 健康課 高齢者支援係(地域包括支援センター) ☎64-8804(直通)まで



シリーズ「お元気ですか」(健康しもはた21)

【心の不調を感じた時…1人で悩まず相談を♡】



下仁田町では心療内科医師による『こころの相談』を実施しています。

●日時 偶数月第2金曜日午後3時～5時(変更あり・広報お知らせ版でご確認ください)

●場所 保健センター

プライバシーを守ってお話を伺えるよう個室を準備し、予約制で行っております。

こんな時にはご相談を

夜、眠れなくなった。

落ち込んで、やる気が起きない日が続いている。

人が変わったようにイライラしたり、些細なことで怒ったりするようになった。

家に閉じこもりがちで、人と会うのが億劫になった。

酒を飲んで、暴れる。

家庭内暴力、ひきこもり、不登校。

認知症の家族のことで困っている。

など、こころの健康に関すること。



●『こころの相談』日以外でも、随時保健師が、お電話や家庭訪問での相談をお受けしておりますので、遠慮なくご相談ください。

【講演会のお知らせ】

人生は、たった一度きり・・・こころの健康を整え、悔いなく生きるためにお役立てください

『こころの健康講演会』

●講師 西毛病院 精神科医師 亀山 正樹 先生

●日時 3月1日(火) 午後1:30～3:00

●会場 下仁田町公民館 3階大会議室

*地元の先生の貴重なお話です。直接会場へお出かけください

●問合せ先 保健環境課 保健予防係(保健センター) ☎82-5490

「心に病を持つ方の家族相談会」

群馬県精神障害者家族連合会(群馬つつじ会)では、精神祖父会者を抱えた家族の方を対象に、同じ悩みをもつ会員や精神科医師をはじめとした専門科による相談会を行います。ひとりで悩まずお気軽にお出かけください。

日時 2月16日(火)10:00～15:00(受付終了 14:30)

場所 富岡保健福祉事務所(富岡合同庁舎)

相談内容 家族の対応の仕方、社会復帰への相談、家族同士の対話 など

相談員 精神科医師、保健師、群馬県精神保健福祉士(PSW)

対象者 精神障害者家族 当事者及び関係者

申込み 当日会場へお越しください(予約不要)

主催 群馬県・群馬県精神障害者家族連合会(群馬つつじ会)

協力 群馬県こころの健康センター・富岡市・富岡保健福祉事務所・群馬県精神保健福祉士会

問合せ先 群馬県精神障害者家族連合会(群馬つつじ会)

☎027-289-9647 FAX027-289-9648



住み慣れた地域でいつまでも生活するために (地域包括ケアシステムの構築に向けて)

1.なぜ、必要なのか?「10年先のための取り組み」

現在日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており(国民の約4人に1人)、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。

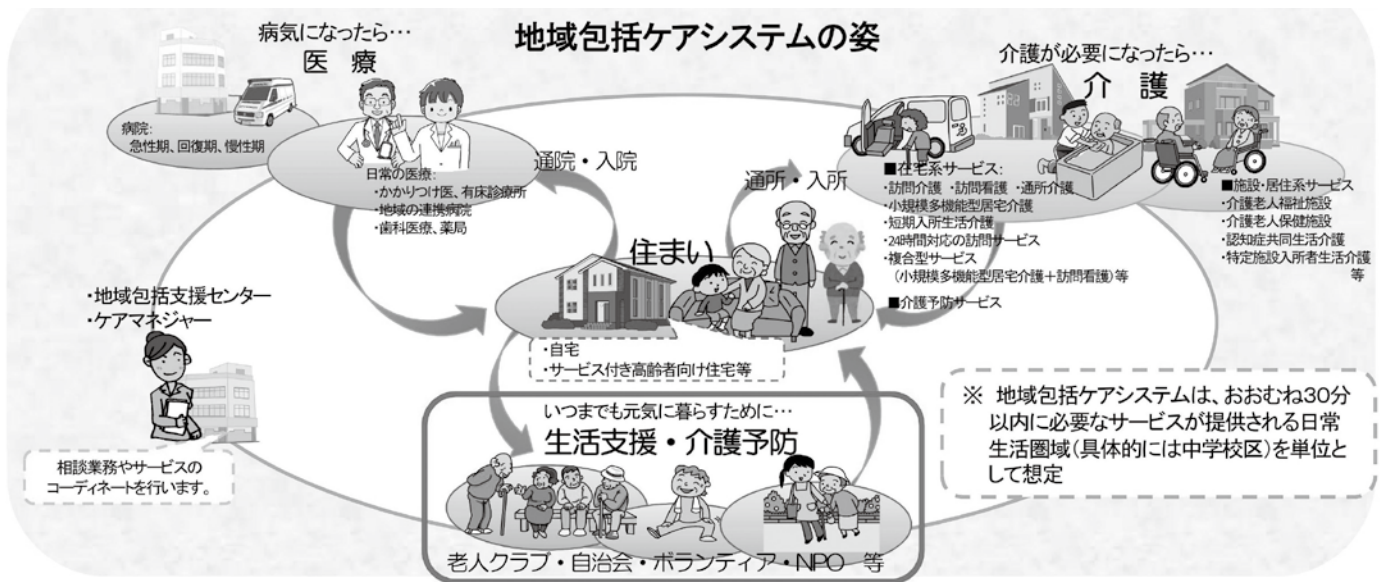
このような状況の中、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

このため、厚生労働省においては、2025年(平成37年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

また、日本は人口減少社会に入り、生産労働人口(15歳~64歳の人口)の減少で働き手が少なくなり、介護職場等では専門職の不足が予想されます。そのため国は2016年を「一億総活躍・元年」と位置付け、「介護離職ゼロ」の実現を掲げて、行政サービスのみならず、NPO、ボランティア、民間企業等の多様な事業主体による重層的な支援体制を構築することを求めると同時に、高齢者の社会参加をより一層推進することを通じて、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍するなど、高齢者が社会的役割をもつことで、生きがいや介護予防にもつなげる取組を推進しています。

2.地域包括ケアシステムとは?「自助・互助・共助・公助」の精神で

- ・自助…自分のことを自分でする。自分の健康管理等
- ・互助…ボランティア活動、住民組織の活動
- ・共助…介護保険等社会保険制度・公助…町独自の高齢者福祉事業



〈出所:厚生労働省ホームページより〉 URL:www.mhlw.go.jp

3.町の取り組み

町では、高齢者の引きこもりや認知症予防やひとり暮らし高齢者等を支える居場所作りの推進や、在宅生活を継続するための日常生活支援を行政だけでなく、ボランティアや住民団体、民間企業等の多様な事業主体で行える支援体制の構築を目指していきます。併せて、元気な高齢者の社会参加の推進を介護予防につなげる活動として取り組んでいきます。

問合せ先 健康課 高齢者支援係 ☎64-8804(直通)まで